

地域拠点校選定の考え方（素案）に対する意見と市の考え方整理表

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
1	1	全般 意見	現在の小中学校に地域活動支援機能等を統合して地域活動の活発化を図るとともに効率利用したいとの趣旨は理解し基本的には賛成しますが、それ自体はもっと気軽にできるところからすぐに始めればよいと考えます。地域拠点校としてモデルを作るのはよいが、作らないとやれないことでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない。」ことを前提として、地域拠点校の考え方と整備に向けた取組を盛り込んだ鎌倉市公共施設再編計画（平成 27 年 3 月）を策定しました。 この公共施設再編計画に基づいて、教育環境の維持向上や安全性に配慮した上で地域活動支援機能等を統合した地域拠点校を学校の建替え等にあわせて整備していくこととしております。 「敷地活用・周辺環境」、「利便性」、「安全性」などの定量的な評価を中心にして一次抽出した学校（学校用地）の中から、優先的に検討していく学校を定めたものです。 今後、学校や関係する公共施設の老朽化の状況、学区の見直しや統廃合の動向を見据えながら、地域住民の方などの意見を踏まえ、互いに協力しながら地域拠点校の整備に向けた検討を進めていきます。
2	2		<p>限られた税収で老朽化していく公共施設を更新するには、「選択と集中」が肝要です。その点で、地域拠点校を選定し、学校と一緒に学習センター、老人福祉センター、図書館、保育園、子育て支援センター、青少年会館、子供会館や子供の家等を一体化してリニューアルすることは、それぞれの無駄も省くように設計すれば素晴らしい事だと思います。人口減、生徒減が予想される現下では特にそう思います。</p> <p>素案について意見を申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次選定で拠点校とした 5 校（御成小、腰越中、深沢小、大船小、玉縄中）は妥当だと思います。 ただ、建築は津波対策を真剣に考えるべきだと思います。現在の予測を前提にするのではなく、プラス 10m や 15m 位は上乘せして「想定外」に臨むべきです。深沢小、大船小や玉縄中も「柏尾川」を津波が遡るこが無いと誰が言いきれましようか。 建築基準法等で許されるのであれば、「床上げ」や屋上に避難スペースを設けるべきです。 それと、特に生徒の通学路の整備も真剣に考えるべきです。ただでさえ、生徒が事故に巻き込まれる事故が相次いでいます。もっと老人社会になります。子供を殺し減らさないように真剣に考えて下さい。 <p>さらに、選定からもれた第一小は、津波対策は十分できているのでしょうか。心配です。鎌倉を全国のモデルになるよう、早く進めて下さい。</p> <p>行政には「時間軸」の考えが希薄に感じます。「早く速く」です。Time is money です。</p>	
3	3	14	<p>「・・・選定した学校（地域拠点校）の整備は建替え等にあわせて、教育環境の維持向上や安全性等に配慮した上で行っていくものです。」とある。また、再編計画の 81 ページにも同様の記載がある。</p> <p>「教育環境の維持向上」や「安全性等への配慮」については、たいへん重要なことなので着実に履行してほしい。</p> <p>多世代交流スペースを地域拠点校に複合化することによって、その学校のグラウンド(校庭)が狭くなるようでは「教育環境の維持向上」とは到底言えない。特に、中学校は多くの部活動で</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			ラウンドを使用しており、現状でも活動場所の確保が苦しいので、校舎建替えの際にはグラウンドを現状より広くする必要がある。そのため、中学校を地域拠点校とした場合、多世代交流スペースのための用地はかなり限られたものになると考えられる。	(前ページの続き)
4	4		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学校をどんどん建替えなければならない。拠点校も必要。今の2倍のペースで拠点校1校とその他の学校1校の改築、あわせて2校を同時に改築するペースで進めてはどうか。 このための費用が課題だろう。老朽化が進む学校以外の公共施設を先行して廃止し、その経費や売却費用を充てるのはどうだろう。数年経てば、拠点校の中に入れるのだから。子ども達の施設が最優先。 現在、未来の子どもたちに優良な建物を残していくには、アイデアが必要。是非進めてほしい。このペースでも全部の学校の改築は難しいし、無駄だろう。小規模学校の廃校もあわせて考える必要があるのではないか。廃校により、経費や売却費用も充てられる。 同時に、子どもの数を減らさない工夫としても鎌倉には拠点校があるというアピールや、廃校とあわせた小中一貫化や学区自由化などの魅力ある（他都市からも）選ばれる学校が有効ではないか。 こちらも本庁舎同様に、早めに全体デザイン（拠点学校の確定）と、拠点学校の個のデザインを任せる建築家のようなデザイナーにコーディネートさせてはどうか。早く進めなければ、老朽化に間に合わないし、改築に必要な費用が浪費されていくばかりである。 	
5	5	2 8 14 16～19 34, 42 46 参4	<p>図表 再編計画における5つの取組方針 に原則賛成します。</p> <p>長期的な児童・生徒数等の動向について、の考察は必然である。</p> <p>鎌倉市保有の建造物総床面積の約4割を占める学校施設の更新には、14頁の多世代交流スペースの考え方が最適と思います。</p> <p>学童の徒歩20分前後まで考慮して良いのではないか。昭和20年代の児童・生徒は通学30分は普通であった。現代の飽食・給食の時代に子供達の足腰を鍛える為にも必然である。</p> <p>当方、今泉地区に居住しているので他地区は良く分からないが、各学校の一次評価と抽出結果は概ね良いのではないか。</p> <p>地域拠点校の整備の進め方について、は概ね良いと思います。</p> <p>長期的な高齢者人口の動向について、図表 高齢者人口の推移、はとても参考に成りました。</p>	
6	6		<p>地域拠点校の活用として、手狭かつ足りない腰越地区の支所および学習センターの代替としての活用を大いに期待しています。</p> <p>小生が居住する新鎌倉山住宅地に自治会館がないせいもありますが、各種サークル活動での利用場所が絶対的に不足しています。</p> <p>腰越中学を活用させていただくと大変助かります。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>なお、現在、西鎌倉小を、西鎌倉祭り、西鎌倉地区運動会という地域の二大イベントで、利用させていただいており、また、手広中の音楽室をあるサークルが夜間利用させていただいています。この継続的利用を、併せ、強く希望します。</p> <p>尚、老婆心ながら、本件、地区の自治・町内会に、前広にご照会いただくことを、強く希望します。</p>	(前ページの続き)
7	7	30, 31, 45	<p>拠点校は災害に強い場所、利便性を選ぶべきである。 深沢地域は富士塚小学校が一番得点が高い、ここを拠点とすべきである。</p> <p>これを口実に将来少子化で小学校がつぶされたりするのではないかと恐れている。 保育園併設したり、公共福祉施設、健康スポーツ施設など併設してつぶさないようにしてほしい。</p> <p>ましてつぶしてマンションなどにするは論外である。 市政を見ているとわざわざ少子高齢化を招くような施策ばかりをとっているようにしか見えない。働きやすく、車を使わなくてもよい、健康に配慮し災害に強い街づくりを志すべきである。</p>	
8	8		<p>先のお話を議論していますので、これを先に進めるためには1カ所選定しモデル事業として、実施してみる必要があると考えます。 これが実施されれば、一気に具体性な形が市民に見えてきますので、市民に理解されやすいと思いますが。</p>	
9	9	44	<p>選定基準に学校が行政センターからの距離（近いor 離れている etc 立地条件）が対象になっているのは何故でしょうか。それよりも児童や生徒の通学距離（最長&平均距離）を調査データとして取り上げて欲しい、何故なら鎌倉地形上 山越、谷越えではないですが結構暗がり通学路が多いのでは（クラブ活動後では）。</p>	
10	10	全体を通して	<p>学校施設の建替えは、その他の公共施設の建替えとは全く別だと思う。学校は子どもたちの教育施設であり 義務教育は子ども権利であり 良好な環境を整備することは大人の責任義務であること、コスト論で考えることではない</p> <p>他の施設は 各行政区毎に行政センターを中心に複合や空き家の活用などでコストを削減する方法を別途考えるべき、そうでないと 築年数に応じた建替えができず 雨もりのするカビだらけの学校を設置する結果になると思う。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
11	11	1～7	<p>●公共施設再編計画基本方針の具体化の1テーマ「地域拠点校の選定の考え方」（素案）には、基本的に無理がある。行政は市民の財産である諸設備、税金の使い方について苦勞された結果だろうが、「30年後にどんな鎌倉市を作るのか」の視点なしにやりくり腐心されている。6歳入学時の小1生は36歳、子どもが小学生中学生の親である。その時、2017年の市が、この提案で良かったと評価するだろうか。</p> <p>●私は他市に見られるような立派な市役所本庁舎は必要な市議会と行政中枢だけでよい。鎌倉地域・腰越地域・深沢地域・大船地域・玉縄地域に必要な行政・図書館・現在の青少年会館機能を持つ赤ちゃんからデイケアまでのセンター作り、「一生安心して暮らせる鎌倉」に、学校は拠点校でなく全部の小中学校が「子育てするなら鎌倉で」の理念を基本とし、「市民憲章」精神でボランティア、企業など20～50代が生き生きと参加できる鎌倉再建計画を作るべき。本庁舎パブコメは発熱のため5時間締め切り時間に遅れ公表できないと翌日担当課から電話をいただいたので、ここに関連させながら述べたい。</p> <p>この基本方針のよって立つところが人口減、税収減、公共施設の老朽化だが、自然・歴史・文化・平和・市民自治を基本に置けば、視点が変わり、いまま生き生きと活動する企業・ボランティア・乳幼児から90代まで農漁業・ものづくり・販売・旺盛な学習・市民活動・健康づくり意欲のまちが見えてくるはず。そこからまちについての視点が定まる。</p> <p>拠点校に複合施設化するのには、それぞれ役割を果たせない悪しき企画。公立学校は、発達が違う子どもたちが安心して学び、ともに成長を保障する場、「子育てするなら鎌倉で」となる。</p> <p>●私は阪神・淡路大震災時、公立学校で働き、病院・学校・市役所・自治町内会がいのちを繋ぐためにどんな働きをしたかつぶさに見てきた。鎌倉は、都市直下型の阪神と、山古志村の教訓が生きると考えている。</p> <p>実地体験者と、震災時から72時間現地にいなかった想像者とでは根本的に思考が違う。</p> <p>学校・病院・公園（寺社仏閣でない）・市役所本庁舎だけ立派では、鎌倉の地形では用をなさない。全校にプールもない鎌倉の学校で避難民の排泄管理も不可能と書いても、体験のない企画者には想像もできないだろう。鎌倉の地形と生活実態で、一点集中ではいのちの保証はない。病院・学校・地域センター・自治町内会の班組織にいたるまで最重要であって、災害後の72時間生存は保障されるのはそこでのマンパワーだ。</p> <p>神戸市では最先端の市民病院・市役所は震災で壊れ司令塔になれなかったが、市内の優れた病院や商業施設、なによりも複合施設は一切ない堅固な小中学校（鎌倉市と違い近畿はどこにも校区に公立幼稚園もある）が膨大な避難者を受け入れた。</p> <p>鎌倉より大きな都市西宮市・芦屋市は中型の司令塔の役を果たしたのは、鎌倉と違う整然とした現代都市だからだ。鎌倉は本庁舎を立派にするお金で、学校施設を独立して温存し、前述した地域センターを各地域に建ててるが、それでも地形状行き届かないから、5地域の小中学校は複合</p>	(前ページからの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
		7～13 ～46	<p>化せず、教育機関として保持すれば、小学校区中学校区のいのちのよりどころになる。</p> <p>2017年も、この小さな鎌倉で保育所に入れなかった子どもが200人に届こうとしている。これこそ手のうちようがある。先ずここを改善しよう。複合施設ではない。優先順位が違う。そこから充実すれば、人口は17万をこれからも維持推移し、健康寿命を保持すれば、支出減、税収増につながる。</p> <p>優れた教育機関・小中学校こそ大切にしよう。</p> <p>極端に狭い鎌倉の学校に同居する諸施設も、上記の考えに立ち返り、学校に依拠してはならない。</p> <p>「子育てするなら鎌倉へ」の理念から発想しよう。</p> <p>「一生安心して暮らせる鎌倉へ」の理念から発想しよう。</p> <p>それぞれの施設をこの『再編計画』で虫食い状態にしてはならない。若者膨大な素案は、隅々まで読ませていただいた。</p> <p>子どもの誕生、若者が生き生きする町、若いベンチャー企業、IT企業の誘致、農漁業の若者たちの視点に学ぼう。ベテランの継承者として。</p> <p>例えば、市役所の勤務の保健婦さんは、全国の優れた保健婦活動から学ぶことを喜びとされるはず。建物からの発想ではなく、行政の一人ひとりが、「鎌倉で生きたいまちづくり」を求めるのは無理かも、と考えるとき、市民の声を聞くのが、このパブコメで終わりならば、悲劇だと思う。</p> <p>市外から通勤している市役所職員の方たちは60%と聞く。これらの政策を書く人が、「私も、鎌倉に住んでみたい」と心から思う素案でなければ、納税者である市民の納得は得られないのは、、、。</p> <p>これらのパブコメは「市民の意見を聞きました」という、単なる通過儀礼ではないかさえ思う。殆どの市民が知らない間に市役所が引っ越したり、複合化が行われる鎌倉ではないかと疑念。</p>	(前ページの続き)
12	12		<p>地域拠点校を選定して 公共施設を統合再編するという計画は、住民にとって良いものになるとは思えません。支所、図書館、学習センター、老人センターなど、それぞれ現在フルに利用されています。今後、高齢者の数がふえれば増々利用者が増えていきます。</p> <p>小・中学校も統合施設になれば今のように学校の静かな環境は保ちにくく安全性も心配です。統合すれば費用が少なくてすむとか空いた土地を貸したり売ったりする資産にするとかそういう効果のために大切なものを失っていいのでしょうか。</p>	
13	13	14	子どもたちの使用する学校内の安全性を必ず確保してください。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
14	10	30	山崎小学校が深沢地域に入っているが、山崎小学校を卒業した生徒は大船中学校に入るので大船地域に入る方が市民生活の実態に合っている これでは違和感がある	・現在の小中学校の配置に基づいて整理をしています。
15	13	22	拠点校の工事だけでなく、拠点校に選ばれなかった築年数の経っている古い学校（例えば第二小）の雨もりや老朽化している壁なども修ぜんして下さい。第二小は敷地内に道路があり、校舎から体育館へ行く渡り廊下に雨よけの屋根がなく生徒が雨にぬれて困っています。	・教育委員会においては、平成29年度から実施を予定している老朽化状況調査の結果を踏まえて、今後、学校の建て替えや長寿命化改修などについて、基本的な整備方針を決めていく予定ですが、個別の修繕については、必要に応じて実施していきます。